

1 総人口

◎前年比
-0.7%
19年連続減

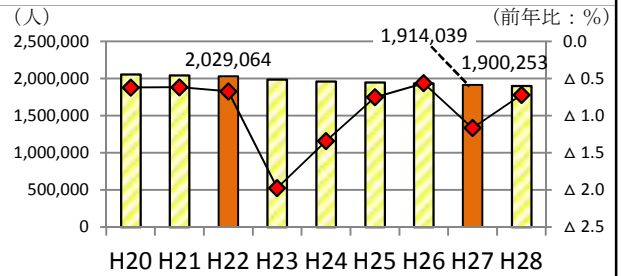


◎震災前比
H28=93.7
(H22=100.0)



- 国勢調査の結果（平成22年と平成27年）を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。
- 平成29年3月1日時点の推計人口は1,892,982人となった。

基準：各年10月1日現在
出典：H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」



2 人口の移動状況(社会動態)

◎前年比
転入 -7.2%
転出 +2.3%



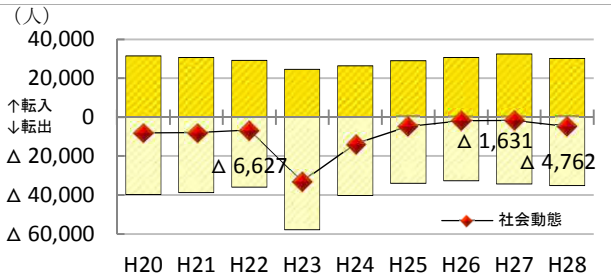
5年振り転出超過拡大

◎震災前比
転入 H28=103.2
転出 H28= 97.4
(H22=100.0)



- 震災時に大規模な人口流出が生じ、平成24年以降は転出超過の縮小が続いていたが、5年振りに転出超過が拡大した。
- 平成28年は前年より転入者が7.2%減少、転出者が2.3%増加し、転出超過が前年より拡大した。

基準：各年1月1日から12月31日までの計
出典：県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」



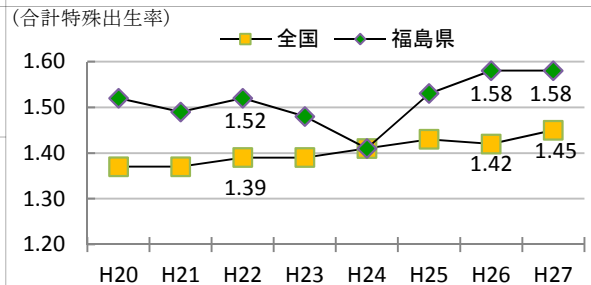
3 合計特殊出生率

◎前年比
±0.00ポイント
前年から変化なし



- 震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復した。
- 平成25年以降は3年連続で全国を上回っている。

基準：年
出典：厚生労働省「人口動態統計」



4 県内総生産(名目)

New!

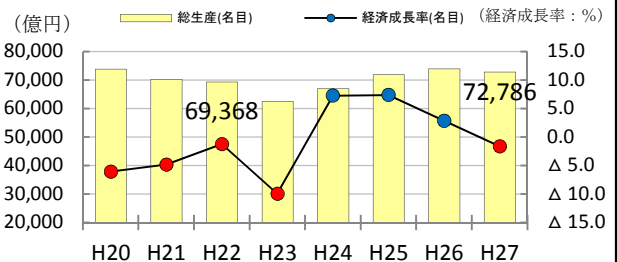
◎経済成長率(前年度比)
-1.6%
4年振り減



- 平成27年度の県内総生産(名目)は、製造業や卸売・小売業、建設業が減少したことから全体として減少し、経済成長率(名目)は4年振りにマイナスに転じた。
- 減少したものの、3年連続で7兆円を超え、震災前の平成22年度を上回る水準で推移している。

基準：年度
出典：県統計課「福島県県民経済計算」
※平成27年度早期推計値に更新。

※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。



5 一人当たり県民所得

New!

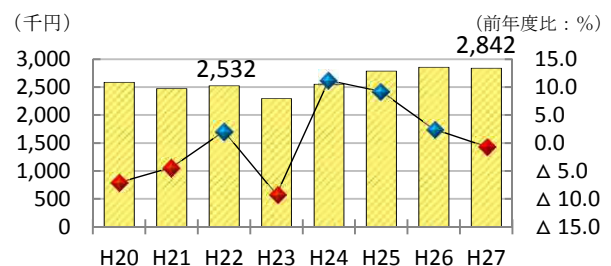
◎前年度比
-0.7%
4年振り減



- 平成27年度の一人当たり県民所得は284万2千円となり、4年振りに前年度の水準を下回った。
- 平成24年度以降、震災前である平成22年度の253万2千円を4年連続で上回って推移している。

基準：年度
出典：県統計課「福島県県民経済計算」
※平成27年度早期推計値に更新。

※計算方法の変更などにより早期推計と確報では大きな差が生じる可能性がある。



<変化方向について>
 緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。
 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<p>6 農林水産物モニタリング検査 基準値超過検体件数の割合 New!</p> <p>◎前年度比 -0.05ポイント 開始年から連続減</p> <p>◎実施初年度比 H28=0.9 (H23=100.0)</p> <p>○基準値超過検体数の割合は、平成23年度の3.41%から年々減少し、平成28年度は0.03%となった。 ○これまでで最少の割合となっており、本県の農林水産物の安全性がさらに高まっていることを示す結果となっている。</p>	<p>基準:年度 出典:県環境保全農業課「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング実施状況」</p> <p>(超過割合:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>超過割合(%)</th><td>3.41</td><td>1.80</td><td>1.46</td><td>0.43</td><td>0.08</td><td>0.03</td></tr> </table>	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	超過割合(%)	3.41	1.80	1.46	0.43	0.08	0.03																
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28																									
超過割合(%)	3.41	1.80	1.46	0.43	0.08	0.03																									
<p>7 有効求人倍率</p> <p>◎前年比 -0.04ポイント 7年振り減</p> <p>◎震災前比 H28=338.1 (H22=100.0)</p> <p>○平成28年は前年から0.04ポイント減少し1.42倍となり、7年振りに前年を下回った。 ○平成24年以降は全国を上回り、25年からは1倍を超える高水準で推移している。</p>	<p>基準:年平均 出典:厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」</p> <p>(倍)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>福島県</th><td>0.52</td><td>0.42</td><td>0.52</td><td>0.80</td><td>1.00</td><td>1.20</td><td>1.40</td><td>1.46</td><td>1.42</td></tr> <tr><th>全国</th><td>0.80</td><td>0.50</td><td>0.50</td><td>0.70</td><td>0.80</td><td>1.00</td><td>1.10</td><td>1.20</td><td>1.36</td></tr> </table>	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	福島県	0.52	0.42	0.52	0.80	1.00	1.20	1.40	1.46	1.42	全国	0.80	0.50	0.50	0.70	0.80	1.00	1.10	1.20	1.36
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																						
福島県	0.52	0.42	0.52	0.80	1.00	1.20	1.40	1.46	1.42																						
全国	0.80	0.50	0.50	0.70	0.80	1.00	1.10	1.20	1.36																						
<p>8 1等米比率(水稲うるち玄米)</p> <p>◎前年比 +5.1ポイント 2年振り増</p> <p>◎震災前比 H28=127.8 (H22=100.0)</p> <p>○本県の平成28年産水稲うるち玄米の1等米比率(速報値)は5年振りに95%を上回った。 ○本県産米の1等米比率は全国を上回っており、平成28年産米は11.2ポイントの差となっている。</p>	<p>基準:年 出典:農林水産省「米の農産物検査結果」 平成20年から27年産米までは翌年10月末日時点の比率。 平成28年産米の比率は速報値であり、平成28年10月末日時点の比率。</p> <p>(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>福島県</th><td>90.0</td><td>92.0</td><td>74.8</td><td>95.0</td><td>88.0</td><td>90.0</td><td>91.0</td><td>90.0</td><td>95.6</td></tr> <tr><th>全国</th><td>80.0</td><td>85.0</td><td>62.0</td><td>80.0</td><td>78.0</td><td>80.0</td><td>82.0</td><td>83.0</td><td>84.4</td></tr> </table>	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	福島県	90.0	92.0	74.8	95.0	88.0	90.0	91.0	90.0	95.6	全国	80.0	85.0	62.0	80.0	78.0	80.0	82.0	83.0	84.4
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																						
福島県	90.0	92.0	74.8	95.0	88.0	90.0	91.0	90.0	95.6																						
全国	80.0	85.0	62.0	80.0	78.0	80.0	82.0	83.0	84.4																						
<p>9 新設住宅着工戸数 New!</p> <p>◎前年比 +18.3% 2年連続増</p> <p>◎震災前比 H28=197.2 (H22=100.0)</p> <p>○平成28年の着工戸数は前年から2,854戸増加し、18,422戸となった。 ○前年からの増減の内訳をみると、持家が121戸減、貸家が2,070戸増などとなっており、貸家が大きく増加した。</p>	<p>基準:年 出典:国土交通省「住宅着工統計」</p> <p>(戸)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>総着工戸数</th><td>11,000</td><td>9,000</td><td>9,342</td><td>7,500</td><td>11,000</td><td>15,000</td><td>15,000</td><td>16,000</td><td>18,422</td></tr> </table>	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	総着工戸数	11,000	9,000	9,342	7,500	11,000	15,000	15,000	16,000	18,422										
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																						
総着工戸数	11,000	9,000	9,342	7,500	11,000	15,000	15,000	16,000	18,422																						
<p>10 試験操業による水揚量 New!</p> <p>◎前年比 +38.9% 開始年から連続増</p> <p>◎実施初年比 H28=1721.3 (H24=100.0)</p> <p>○試験操業による水揚量は年々増加して推移し、対象魚種(モニタリング結果から安全性が確認されたもの)は平成29年1月末時点で97種類まで拡大している。 ○平成29年3月に対象海域が拡大し、福島第一原子力発電所の半径10km圏内を除く福島県沖で実施している。</p>	<p>基準:年 出典:県水産課「福島県水産要覧」</p> <p>(トン)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>水揚量(トン)</th><td>122</td><td>406</td><td>742</td><td>1512</td><td>2100</td></tr> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	水揚量(トン)	122	406	742	1512	2100																		
年度	H24	H25	H26	H27	H28																										
水揚量(トン)	122	406	742	1512	2100																										

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。